



ごみをへらそう!

ごみ処理量とリサイクル事業回収量は共に減少		令和6年度の
一般家庭から出るごみ処理量は前年度より419t減少しました。また、リサイクル事業の回収量は前年度より約192t減少し、民間でのリサイクルの増加などが理由と考えられます。	419t	419t
資源ごみと集団資源回収を除く家庭ごみの排出量は、市民1人1日当たり454.6gでした。市では、令和12年度に市民1人1日当	454.6g	454.6g
円は市が負担しています。	3386万8528円	3億9764万828
袋作製などの手数料収入は1億円は市が負担しています。	3150万8528円	3億9764万828

令和6年度 ごみ処理量

	R6年度	R5年度との比較
燃やせるごみ	7,555t	-175t
燃えないごみ	304t	-28t
燃やせないごみ	1,077t	-22t
粗大ごみ	554t	-1t
資源物	3,045t	-193t
合計	12,535t	-419t

令和6年度 リサイクル事業 回収量

	R6年度	R5年度との比較
びん・缶・ペットボトル	870.5t	-16.9t
集団資源回収	1,040.4t	-122.1t
古着・古布	12.3t	-0.5t
廃蛍光管	1.4t	-0.1t
みどりのリサイクル	871.6t	-46.6t
廃乾電池	11.7t	+0.4t
紙パック	0.4t	+0.1t
ミックスペーパー	221.9t	-5.4t
廃食用油	11.8t	±0t
小型家電	16.2t	-0.7t
インクカートリッジ	0.2t	+0.1t
合計	3058.4t	-191.7t

あなたは
取り組んで
いる?!



1 リフューズ Refuse ごみの発生回避

レジ袋ではなくマイバッグを持って出かけよう!



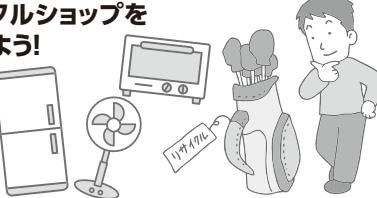
2 リデュース Reduce ごみの排出抑制

洗剤などは詰め替え用を活用しよう!



3 リユース Reuse 製品・部品の再利用

リサイクルショップを利用しよう!

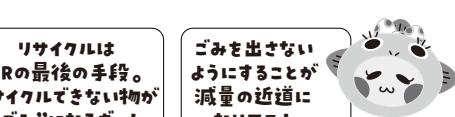


4 リサイクル Recycle ごみの再資源化

集団資源回収などを積極的に活用しよう!



リサイクルは
4Rの最後の手段。
リサイクルできない物が
“ごみ”になるギョ!



ごみを出さない
ようにすることが
減量の近道になりマス!



不要品を
「リユース」を!
ごみとして捨てる前に

市ではリユースの促進を目的に、リユースプラットフォーム「おいくら」を運営する株式会社マイケットエンタープライズや、地域内の譲り合い掲示板サイト「ジモティー」を運営する株式会社ジモティーと、それぞれ1月に連携協定を締結しました。ぜひこの機会に、リユースの活用をご検討ください。

おいくら

一度に複数のリユースショップの買い取り価格を比較し、条件に合う店舗へ売却できるサービスです。



特徴

- 複数の買い取り価格を比較して選べます
- 最短で当日の引き取りも可能です
- 大型や重いものも買い取り対象です

ジモティー

譲りたい不要品の情報を簡単に投稿でき、地域の中で譲り先を見つけるサービスです。



特徴

- 誰でも簡単に不要品の情報を投稿でき、地元で譲り先が見つかるサービスです
- 会員登録や出品時の手数料は一切かかりず、無料で利用できます
- 最短で当日中に取引が完了します

リチウムイオン電池は
回収ボックスへ!

ごみ処理場が火災で
使えなくなると、ごみ収集が休止となる可能性があるなど、私たちの生活に大きな影響があります。また、焼損した施設の修繕には多くの税金と時間が必要となり、市民の負担も大きくなります。

リチウムイオン電池や、ニカド電池・ニッケル水素電池などの小型充電式電池は、絶対に燃えないとごみに出さないでください。また、強い衝撃を与えた

リチウムイオン電池や、ニカド電池・ニッケル水素電池などの小型充電式電池は、絶対に燃えないとごみに出さないでください。また、強い衝撃を与えた

リチウムイオン電池や、ニカド電池・ニッケル水素電池などの小型充電式電池は、絶対に燃えないとごみに出さないでください。安全なごみ処理のため、適切な排出にご協力をお願いします。

回収ボックスに出してください。膨張したモバイルバッテリーなどは大変危険なため、市役所3階ごみ・リサイクル課で回収しています。

リチウムイオン電池を回収ボックスに出すことで防げる火災があります!

